

SUSTAINABILITY COMMUNICATION BOOK 2025

ナガセヴィータ サステナビリティ コミュニケーションブック



想いと技術が紡ぐ、新たな価値

共創で拓く未来へ――

1883年の創業以来、わたしたちは岡山を拠点に、自然の力を活かしたモノづくりと価値創造を通じて、人々の豊かな暮らしに貢献してまいりました。2024年4月には社名を「ナガセヴィータ」へと変更し、パーパス（存在意義）とバリュー（行動指針）を掲げ、新たな一步を踏み出しました。

わたしたちは独自の酵素技術を活かし、自然界から学びを得ながら、機能性糖質や糖質関連素材を生み出してきました。研究開発から製造、販売までを一貫して手がける“製販一体”の体制は、当社の大きな強みです。パーパスである「生命に寄り添い、人と地球の幸せを支える」は、共生と共創を礎とするもので、未来へつづくわたしたちの揺るぎない理念です。それを実現するために、モノづくり（生産）と価値づくり（研究開発）の両輪で、事業の成長を加速してまいります。

当社は、人権や環境に配慮しながら、原料の調達からお客さまへの製品提供まで責任を持ち、持続可能なモノづくりを追求しています。こうした社会と自然との調和を意識した事業活動が評価され、国際的なサステナビリティ評価機関・EcoVadis社から、2年連続で最高位の「プラチナ」をいただきました。

今年、当社の主力製品であるトレハロースは発売30周年を迎えます。かつて量産が困難とされてきたこの素材を、わたしたちは独自の酵素技術により、でん粉から安価に大量生産する道を世界で初めて確立しました。この実績は、社員の情熱と挑戦の証であり、当社の誇りでもあります。以来、ステークホルダーのみなさまとの共創により、当社のトレハロースは、食品、医薬品、パーソナルケア製品、さらには農業分野へと用途が広がり、世界中の人々を支える素材へと進化してきました。

これからも、全社一丸となって研究とモノづくりの強みを活かし「価値の創出」に挑み続けます。

そして、みなさまとともに、持続可能な社会と希望あふれる未来の実現へ向けて、誠実に歩んでまいります。



代表取締役社長

万代隆孝

2025年4月1日就任

岡山県出身。1984年に岡山大学農学部を卒業後、株式会社林原（現ナガセヴィータ）に入社。発酵微生物と糖質の研究、AA2G®やトレハロースの開発に携わる。その後は工場長、部門長として製造現場のマネジメントに従事。環境マネジメント推進委員長として環境負荷低減にも取り組む。微生物や酵素技術に精通した視点で、技術と現場をつなぎ企業価値の向上に努めてきた。



PURPOSE

わたしたちの存在意義

微生物や酵素など自然の力を活かして多様な素材を生み出し、人と地球の幸せを支えることがNagase Viitaの存在意義です。自然の恵みから生まれた小さな素材でも、さまざまなパートナー企業との共創によって幅広い領域に広がり、よりよい未来を築く大きな支えになると考えます。

生命に寄り添い、人と地球の幸せを支える



VALUES

わたしたちはこう動く

PURPOSEの実現に向けた行動指針です。人と自然が真に共生する未来を目指して、ともに進み、成長していくために、わたしたちが日々の判断や行動の軸とすべき価値観を明確にしました。創業以来培ってきたDNAを継承しながら、より強い組織文化の形成を目指します。



誰に対しても誠実に

わたしたちの原点は、社会を豊かにするモノづくり。誠実に向き合い、改善を積み重ねてきました。誠実の輪を広げてゆくことで、人と地球の幸せを支えます。



変化を楽しむ

変化は、想いを同じくする仲間との出会いをもたらし、よりよい未来の可能性がひらかれます。心を弾ませながら、一緒に楽しみます。



自ら行動する

先輩たちの想いと行動の積み重ねで、いまがあります。次はわたしたち。たとえ前例がなくても、簡単に答えが見つからなくても、一步を踏み出し、よりよい未来を迎えにゆきます。



想像し創造する

知っている世界に閉じず、まだ生まれていない生命にまで想いを馳せる。人と地球の幸せを想像し、目指す未来を創造します。



受け入れて力に

違いの数だけ可能性がある。強く、優しいチームになれる。一人ひとりが想いとアイデアを持ち寄り、健全にぶつけ合いながら、一緒に磨きあげます。

わたしたちの風土改革

インテグリティの推進

インテグリティとは「誠実」、「真摯」、「高潔」などの概念を表す言葉で、「すすんで良いことをしよう」という能動的な姿勢を意味します。当社は、透明性と緊張感のあるガバナンス運営のなかでインテグリティの浸透・啓発を推進するとともに、関連に対話ができる職場の風土づくりに取り組んでいます。

クオリティカルチャーの推進

安心安全な製品を安定してお届けする仕組みを下支えるクオリティカルチャーの浸透・定着に努めます。めざす姿の意思統一と浸透を推進し、品質を身近に感じる環境を整えます。





MATERIALITY

わたしたちの重要課題

未来への責任を果たすために、わたしたちはいまなにをすべきか。なにができるのか。
SDGsのテーマをふまえながら経営陣と社員が意見を交わし、4つのマテリアリティ(重要課題)を定めました。

1 健康寿命延伸への貢献



2 安定的な食料確保



3 社員エンゲージメントの向上



4 環境負荷の低減



AREA

わたしたちの貢献分野

長年にわたり培ってきた確かな技術から生み出される高品質な製品を通じて、
人々の暮らしに彩りと豊かさをもたらすとともに、持続可能な社会の実現にも貢献してまいります。

食品素材

食品の美味しさを支える糖質や酵素、健康維持に役立つ機能を備えた食品素材で、暮らしに笑顔と満足をお届けします。

パーソナルケア素材

地球環境に配慮したパーソナルケア素材を開発・提案することで、人々の健やかな美しさに貢献します。

医薬品素材

医薬品の安定性や使いやすさを高める各種素材の提供を通じて、より多くの人々への医薬品の提供を支えます。

ウェルネス製品

OTC医薬品「錠剤ルミン®A」、医薬部外品の有効成分や化粧品原料となる感光素を通して、人々の暮らしと健康を支えます。

工業・農業・飼料など

自然の力を活かしてつくられた素材の用途開発を進め、さまざまな分野でサステナブルな未来に貢献します。



ACTION

わたしたちの行動計画

マテリアリティ(重要課題)に取り組むため、サステナビリティ行動計画を策定しています。全社でベクトルを合わせるため、2030年にわたしたちが目指す“ステークホルダーの皆さまへの提供価値”を明確化し、迅速かつ具体的な行動に移しています。

行動計画について
詳しくはこちら ▶



EVALUATION

外部評価と賛同するイニシアチブ

創業から、生命に寄り添うモノづくりを大切にしてきたわたしたち。
外部評価の誇りを胸に、賛同する組織と連携し、人と地球にやさしい未来を育んでいきます。

外部からの評価



2年連続獲得 EcoVadis 最高位の「プラチナ」評価

国際的な評価機関EcoVadis社(フランス)のサステナビリティ評価において2年連続で最高位の「プラチナ」評価を獲得しました。「プラチナ」は、評価対象企業のうち、総合得点が上位1%以内の企業に与えられる評価です。EcoVadis社は、185カ国以上の国で、250以上の業種、150,000社以上の企業の持続可能性を客観的に評価する、信頼性の高い共同プラットフォームです。「環境」、「労働と人権」、「倫理」、「持続可能な資材調達」の4つの分野で包括的に評価を行います。



健康経営優良法人 2025

経済産業省と日本健康会議より、とくに優良な健康経営を実施している法人「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定されました。



スポーツエールカンパニー 2025

スポーツ庁より、従業員の健康増進のためにスポーツを促進する企業として「スポーツエールカンパニー 2025」に認定されました。



エコレールマーク 取組企業

国土交通省より、環境にやさしい貨物鉄道輸送を積極的に取り組む企業として「エコレールマーク取組企業」に認定されました。



国連グローバル・コンパクト

国際的な枠組み「国連グローバル・コンパクト」に署名。
10原則(人権・労働・環境・腐敗防止)を尊重し、より一層サステナビリティの取り組みを推進していきます。



国連WFP協会

国連の食料支援機関・国連WFPの使命に賛同。国連WFP協会のコーポレートプログラムのサポーターとして、学校給食支援などの活動を寄付を通じて支えています。

わたしたちの 取り組み

研究開発と モノづくりで 社会課題を 解決

人と地球にやさしい社会を実現するために、事業を通してさまざまな取り組みを重ねています。共感の輪をパートナー企業にも広げ、1社だけでは成し得ないスピード感とスケールを追求しています。



信頼でつなぐパートナーシップ ともに歩む、責任あるモノづくり



サプライヤーガイドラインの策定

わたしたちは、当社事業に関わるすべての方々の人権を尊重することを、事業活動の基盤と位置づけ、「人権方針」を策定しました。この方針に基づき、サプライチェーン全体で価値観を共有するための「サプライヤーガイドライン」を新たに公開しました。このガイドラインは、人権方針の精神を具体的な行動へとつなげる道しるべであり、わたしたちの理念を実践へと導くものです。サプライヤーのみなさまと丁寧に対話を重ねながら、課題とともに乗り越え、持続可能な未来を築くパートナーシップを育んでいきます。これからもナガセヴィータは、社会的責任を果たしながら、すべての人が尊重される、より良い未来の実現に向けて歩み続けます。



時代が変わっても揺るがないサプライヤーとの関係を

持続可能なサプライチェーンを築くためには、サプライヤーのみなさまと信頼に基づく「レジリエンスな関係」を育むことが大切だと考えています。環境や状況が変化しても、対話を重ねながらともにあるべき姿を描き、前向きに進んでいける存在であり続けたい。その積み重ねが、安定した調達と持続可能な未来につながると信じています。

サプライチェーン部 調達課長 武田 啓志

ナガセヴィータの人権方針

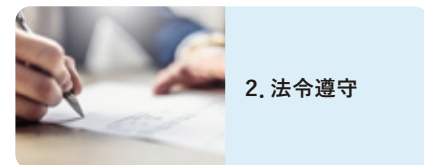
サステナブル調達方針

サプライヤーガイドライン

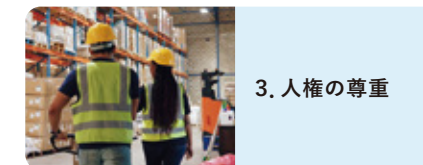
サプライヤーガイドライン：4つの遵守事項



1. 安全、高品質な
製品の提供



2. 法令遵守



3. 人権の尊重



4. 環境への配慮

健康寿命延伸への貢献

バイオ医薬品の製造課題も解決 糖質の力で笑顔あふれる未来へ



医薬品の安定化に加え、新たな機能を発見

バイオ医薬品の製造は、細胞を培養して薬の成分となる「たんぱく質」をつくる工程から始まります。しかし、この培養液の中には、目的のたんぱく質だけでなくさまざまな不純物が含まれており、それらをきれいに取り除くことが製造工程の大きな課題となっています。当社では、トレハロースを加えると不純物を効率よく除去できることを発見しました。トレハロースは安定化剤として多くのバイオ医薬品に使用されており、この発見によって、製造工程の課題解決にも役立つことが示されました。その成果を、国内外の学会や展示会で積極的に発信。研究者や技術者との対話を通じて、技術の輪を広げています。



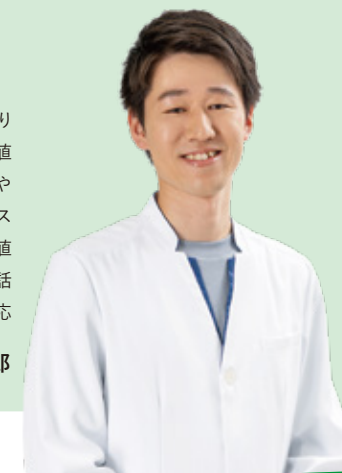
高品質な糖質の提供を通じて、バイオ医薬品の課題解決に貢献しています。



素材の価値を見定める、 対話というプロセス

はじめて不純物低減のデータを取得できたときは、期待通りの結果に喜びを感じる一方で「製造現場でどれほどの価値をもつのだろう？」という疑問もありました。そこで、展示会や学会に積極的に参加し、学術発表を通じてお客さまとディスカッションを重ねる中で、わたしたちの発見の客観的な価値やさらなるニーズを把握することができました。こうした対話を通じて、より実用的なソリューションへと進化していく手応えを感じています。

医薬品素材部 橋本 孝太郎



環境負荷の低減

自然環境と調和する ヘアケア素材開発



環境負荷低減につながる処方を開発

わたしたちが毎日使うヘアケア・スキンケア製品。その製造には、水や石油由来原料などの限りある資源が使用されています。いま、世界中のメーカーが、水の使用量を抑え、持続可能な原料を選ぶなど、環境負荷の低減に取り組んでいます。当社は、独自の「機能性糖質」を活かし、肌や髪に健やかな美しさと快適さを届けながら、環境に配慮した処方を開発・提案しています。毎日のケアから、やさしい未来をつくっていきます。



シャンプーやボディソープにも、環境にやさしい糖質素材が活用されています。

環境にやさしい固形シャンプー

固形シャンプーは、液状のシャンプーと比べ容器ごみや輸送時の負荷を減らせる一方、湿気に弱く泡立ちにくい課題がありました。「トルナーレ®」を配合することで、湿気の多い場所でも高い安定性を実現しました。ナガセヴィータの糖質は、「機能性」と「環境への配慮」を兼ね備え、長年にわたり化粧品素材に選ばれてきました。その価値をこれからも広く伝えていきます。



パーソナルケア素材部
廣兼 純



サステナブルなスタイリング剤

整髪剤に使われる合成系被膜剤は、製造過程や自然界への流出による環境負荷が懸念されています。「プルラン」と「リセナーレ®」を組み合わせることで、合成系被膜剤を使わずに同等のスタイリング機能を実現しました。髪を整える日常の中で、環境へのやさしさも選べるように、機能性糖質の力を活かした処方開発に取り組んでいます。



実際に試作したジェル
パーソナルケア素材部
造田 みな美



わたしたちの 取り組み

共生×共創で
創り出す
新たな風景

パーパスを北極星として掲げ、バリューをコンパスがわりにたずさえて。顔をあわせてひとときを共有する。意見を出し合い、新たな価値を紡ぎ出す。ともに社会課題に向き合うために、わたしたちは対話を続けていきます。



社員エンゲージメントの向上

わたしたちはこう動く！ プロジェクトメンバーがロールモデルに



パーパス・バリュー浸透活動の実施

各部門の社員で構成された「全員参加プロジェクト'24」は、パーパスとバリューの浸透活動を精力的に行いました。部署の垣根を越えて、周囲を巻き込みながらの対話を1年間で38回実施したほか、共感するバリューに“お菓子を食べて投票”するユニークなしかけや、手づくりステッカーの配布、ポスター掲示など次々に展開。まさにバリュー「自ら行動する」「想像し創造する」を実践した取り組みで、社内には活気と新たな風をもたらしました。



言葉を交わすたびに共感が芽生えました。



チョコを食べて共感するバリューに投票！



想いをひとつに、浸透活動に取り組んだ全員参加プロジェクト'24のメンバー。

社員エンゲージメントの向上

オープンな空間で対話とひらめきの連鎖が



オアシス

藤崎研究所にオフィス「Oasiis」完成



「Oasiis」は社名「Viita」の“ii”を取り入れたネーミングです。



オアシスエリア



グリーンエリア



シティエリア



パークエリア

廊下と会議室だった場所をリノベーションし、全席フリーアドレスのオフィススペースに。リラックス、集中、対話、気分転換など目的に合わせて選べる4つのエリアがあり、ポスターセッションや懇親会などイベントに使える柔軟さも魅力です。自然に交流が生まれる開放的な空間で業務品質の向上が期待されます。

安定的な食料確保・環境負荷の低減

子どもたちの未来を育む、 学びと発見のフルコース



共創で広げる食育プロジェクト「SCHOOL OF FOOD」開催！

身近な“食”をテーマに楽しく学べる食育プロジェクト「SCHOOL OF FOOD」をスタートしました。第1回は「ナガセヴィータまつりin 藤崎」内で開催し、授業や体験ブースには約200名が参加。クイズや大型トラック体験に夢になる子どもたちの笑顔があふれました。地域や共創パートナーとともに、未来につながる学びの場を広げていきます。



知って、触れて、食べて、多角的に“食”を学ぶイベントに約200名が参加しました。

社員エンゲージメントの向上

人と人がつながる “あたたかな場”を 大切に



ナガセヴィータのふれあい祭り

地域のみなさまと会社とのつながり、そして社員同士のつながりを深めるために、各地でイベントを開催しています。「ナガセヴィータまつり in 藤崎」、「福知山工場まつり」では、屋台やステージ、工場見学など、家族みんなで楽しめる催しが盛りだくさん！直接集い笑い合う時間が、活気と共感を生み、人と人の絆をより深めてくれました。



福知山工場まつり

安定的な食料確保

味わって、 世界の食料問題 を考える



世界食料デーイベント開催

10月16日は国連が定めた「世界食料デー」。社員食堂でアフリカ料理を再現したメニューを提供し、国連WFP協会の協力を得て食料支援活動の紹介を行いました。食料問題の解決に向けて、社



員一人ひとりが世界の現状を知り、行動を起こす機会づくりを推進しています。

海中に眠っていた“元寇船”を遺すには



松浦市と「文化財保存修復事業等に関する包括連携協定」を締結



元寇船の“いかり”の保存にトレハロースが活用されています。
(写真提供：松浦市教育委員会)

長崎県松浦市にある鷹島海底遺跡から引き揚げが進められている“元寇船”にかかわる遺物は、歴史を紐解く重要な文化財です。松浦市は2013年からトレハロースを用いた遺物の保存処理(トレハロース含浸処理法)に取り組んでおり、このたび松浦市とナガセヴィータは「文化財保存修復事業等に関する包括連携協定」を締結しました。文化財保存活動への支援や情報発信を通じて、貴重な文化財を次世代に遺す取り組みの発展に貢献していきます。

ウェルビーイングを支える夢の素材！



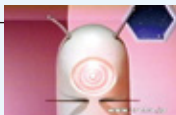
トレハロース 30年の軌跡

多機能糖質トレハロースのパイオニアであるわたしたちは、食品の美味しさや品質の向上、鮮度保持などの機能面からその可能性を広げてきました。食品業界における課題解決にいち早く取り組んだことを起点に、その後医薬品やパーソナルケア分野へも応用を進めてきたほか、近年では、賞味期限の延伸による食品ロスの削減や食料の生産性向上といった社会課題への貢献にも取り組みを広げています。発売から30年。これからもトレハロースの力を活かし、人と地球にやさしい、真に豊かな社会の実現を目指して取り組んでいきます。



////////////////////// トレハロースと歩んだ30年 ////////////////////////

- 1992年 岡山市の土壌からトレハロース生成酵素をつくる微生物を発見
各種糖質の用途開発ラボ「L'プラザ」オープン
- 1995年 トレハロースを発売
- 1997年 第1回「トレハロースシンポジウム」開催
(以降、25回にわたり開催)
- 1999年 欧米展開に向け、GRAS・JECFAなどの許認可取得を開始
- 2004年 トレハ®星人のテレビCM開始
- 2007年 「ものづくり日本大賞」経済産業大臣賞を受賞
- 2009年 トレハロース専用工場「岡山機能糖質工場」竣工
- 2020年 農業・飼料・工業など新たな領域への取り組みを強化
- 2022年 食料システム全体への貢献を目指し、
「フードシステムソリューションズ部門」を設立



社会課題に応える素材力 — さらなる価値創造へ —

事業戦略部

丸田 和彦博士

いまから33年前、わたしはトレハロース生成酵素をつくり出す微生物を土壌から発見しました。以来、当社では知見と技術を磨きながら、トレハロースの可能性を広げてきました。複雑化する社会課題に応えるため、その価値を絶えずアップデートし、新たな市場や用途への展開を進めていきます。



「研究開発ストーリー」はこちら



広がる領域、深まる価値——トレハロースの挑戦はつづく——

美味しさキープで食品ロス削減



介護食や惣菜の品質と味を向上



医薬品の品質を安定させ
健康増進に寄与



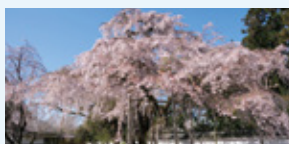
植物のストレス耐性を向上
地球にやさしい農業を支える



詳しくは
こちら

こんな分野にも貢献！
—— 注目の社外事例 ——

豊臣秀吉ゆかりの桜を
未来に伝える！
「太閤しだれ桜」クローン培養



700年前の木製遺物が語る、
元寇の記憶。
保存の鍵はトレハロース



写真提供：松浦市教育委員会



主な事業所

- 本社
- 岡山営業所
- L'プラザ 岡山ラボ
- 藤崎研究所
- 岡山第一工場
- 岡山第二工場
- 岡山機能糖質工場
- 藤田製剤工場

● 札幌営業所

● 新潟営業所

● 仙台営業所

● 東京オフィス

● L'プラザ 東京ラボ

● 名古屋営業所

● 大阪営業課

● 福知山事業所

(福知山第一工場、福知山第二工場)



藤崎研究所



岡山第一工場



岡山第二工場



岡山機能糖質工場



藤田製剤工場



福知山事業所



L'プラザ 岡山ラボ



L'プラザ 東京ラボ

会社概要

(2025年4月1日現在)

会 社 名 ナガセヴィータ株式会社 Nagase Viita Co., Ltd.
創 業 明治16年(1883年)
設 立 昭和7年7月10日
代 表 者 代表取締役 万代 隆彦
本 社 〒700-0907 岡山市北区下石井1-1-3 日本生命岡山第二ビル新館
TEL:086-224-4311 FAX:086-224-8492
資 本 金 5億円
株 主 長瀬産業株式会社(100%)
従 業 員 数 788名
事 業 内 容 食品原料、医薬品原料、化粧品原料、健康食品原料、機能性色素、酵素、
リン脂質の開発・製造・販売

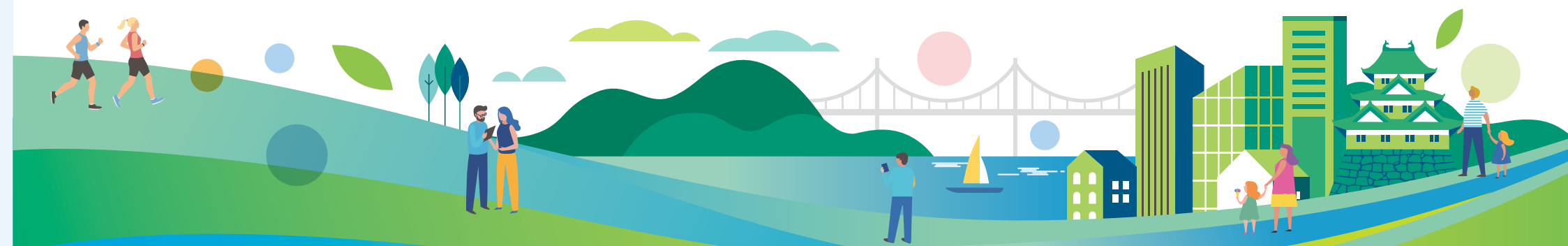
ナガセヴィータの
WEBサイトはこちら



当社のニュース/
プレスリリースはこちら



長瀬産業/
NAGASEグループに
ついて詳しくはこちら





TOPIC

EcoVadis社のサステナビリティ評価で
2年連続最高位の「プラチナ」評価を獲得

詳しくは本誌4ページをチェック! >



お問い合わせ先

ナガセヴィータ株式会社
コミュニケーションデザイン部

〒700-0907 岡山市北区下石井1-1-3 日本生命岡山第二ビル新館
TEL.086-224-4311(代) FAX.086-224-8492
ナガセヴィータ サステナビリティサイト
<https://group.nagase.com/viita/sustainability/>
発行年月:2025年7月

